

農村環境向上活動に取り組んでいる地域を紹介します！

豊富町の西側に位置し、サロベツ国立公園に隣接している『豊徳(ほうとく)地区』の協議会では、農用地941.4ha、排水路8.1km、農道1.6kmの主な地域資源を、農業者・自治会・婦人部・豊徳酪農青年振興協議会・老人クラブの人達等地域ぐるみで、景観形成・生活環境保全活動を行っています。具体的な活動としては、ごみ拾い・植栽した桜の病気診断と治療・排水路の草刈りと土砂上げ・農道沿いの草刈りとプランター設置・廃屋の撤去などが行われています。ここでは、観光客が道に迷わないように、廃材等を利用し、手作りしたという案内看板が設置されている素敵な場所をご紹介します。



①手書きの文字と絵で作成された地図看板「ほうとくマップ」が設置されています。下には近隣の土地への道路案内看板があります。



②「ほうとくマップ」の隣には、白いベンチが置いてあり、訪れた人が休憩もできるようになっています。



③日照りの時に備え、植物用に水を貯水するためと思われる、オレンジ色のポリタンク(写真右側)が設置されていました。随所に工夫が見られます。



④ベンチの奥には様々な花が植えられた花壇があり、その美しさに癒されます。かつて廃屋があったという寂しい場所が、小さなオアシスに変貌していました。